

# 第 2 次豊橋市環境基本計画

## 達成状況



# 環境目標 I 低炭素社会の実現により保全する地球環境

基本施策	I-1. 環境に配慮したエネルギーの利用促進	
	I-2. エコモビリティライフの推進	

## ▼目標

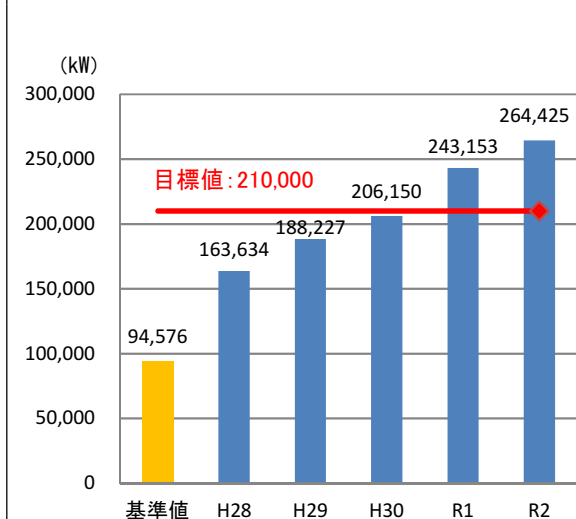
地球温暖化対策を進め、二酸化炭素の排出が少ない低炭素社会を実現することにより、恵まれた環境を将来の世代に継承し、地球環境の保全に寄与することを目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
エコファミリーの登録件数(累計) [世帯]	1,493	4,261	6,357	8,302	9,836	11,299
再生可能エネルギー施設の設置量(累計) [kW]	94,576*	-	-	-	(94,576)	(132,903)
1日当たりの公共交通利用者数 [千人/日]	77	75	75	77	79	81
電動アシスト自転車普及台数(累計) [台]	845	1,889	2,652	3,373	3,934	4,554

取組の目標	H28	H29	H30	R1	R2	目標値(R2)
エコファミリーの登録件数(累計) [世帯]	12,781	14,212	15,382	16,604	17,530	15,000
再生可能エネルギー施設の設置量(累計) [kW]	163,634	188,227	206,150	243,153	264,425	210,000
1日当たりの公共交通利用者数 [千人/日]	82	83	83	82	55	79
電動アシスト自転車普及台数(累計) [台]	5,199	5,849	6,515	7,215	7,815	7,500

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

### 再生可能エネルギー施設の設置量 (累計)



### ▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	21	H23	2	10%	17	80%	2	10%	-	A	A
		H24	1	5%	18	85%	2	10%	-	B	
		H25	2	10%	15	71%	4	19%	-	A	
		H26	4	19%	13	62%	4	19%	-	A	
		H27	4	19%	14	67%	3	14%	-	A	
改訂後	25	H28	4	16%	20	80%	1	4%	-	A	A
		H29	4	16%	20	80%	1	4%	-	A	
		H30	4	16%	20	80%	1	4%	-	A	
		R 1	3	12%	20	80%	2	8%	-	A	
		R 2	4	16%	17	68%	4	16%	-	A	

#### 実績評価

◎：順調に進んでいる ○：概ね順調に進んだ △：あまり順調に進んでいない

#### 総合評価・総括評価

A：成果が上がった

B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった

D：成果が上がらなかった

### ▼環境目標 I の評価

- ・エコファミリーの登録件数、再生可能エネルギー施設の設置量、電動アシスト自転車普及台数は目標を達成しました。また、1日当たりの公共交通利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けたものの、令和元年度時点で目標を達成するなど、順調に進みました。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、毎年着実に成果を上げることができました。
- ・補助制度の充実やバイオマス活用センターの稼働等により、再生可能エネルギーの利用を促進することができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

# A

## 環境目標Ⅱ

# 多様な生物が生息し、人と共生する自然環境

基本施策	Ⅱ-1. 生物多様性の保全	Ⅱ-4. 農地の保全
	Ⅱ-2. 森林の保全と利用の促進	Ⅱ-5. 水と緑のネットワークの充実
	Ⅱ-3. 河川・海岸・ため池の保全	

### ▼目標

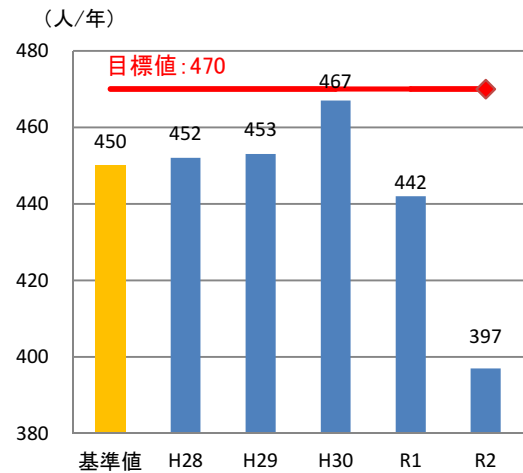
私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらすこの自然環境を、かけがえのないものとして将来にわたって保全し、人と自然が共生できる社会を目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
自然環境の保全啓発活動への参加者数 [人/年]	3,487	2,506	1,008	844	2,309	1,136
外来生物を駆除した池数(累計) [池]	6	15	19	23	25	30
森林保育作業の参加者数 [人/年]	56	114	100	114	101	80
干潟保全実践プロジェクト 関連イベント参加者数 [人/年]	450 <sup>*</sup>	-	-	-	(450)	(426)
環境保全型農業を実践している農家の割合 [%]	18.2	27.3	28.1	28.4	30.4	30.6
市民1人当たりの都市公園面積 [㎡]	9.77	9.87	9.89	9.95	9.96	10.02

取組の目標	H28	H29	H30	R1	R2	目標値(R2)
自然環境の保全啓発活動への参加者数 [人/年]	1,413	1,393	1,242	1,610	419	3,500
外来生物を駆除した池数(累計) [池]	32	34	36	38	40	50
森林保育作業の参加者数 [人/年]	110	150	224	194	100	120
干潟保全実践プロジェクト 関連イベント参加者数 [人/年]	452	453	467	442	397	470
環境保全型農業を実践している農家の割合 [%]	36.0	36.5	36.8	37.4	37.5	36.0
市民1人当たりの都市公園面積 [㎡]	10.03	10.05	10.07	10.13	10.24	10.00

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

### 干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数



### ▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	36	H23	6	17%	24	66%	6	17%	-	A	B
		H24	4	12%	27	79%	3	9%	2	A	
		H25	3	9%	25	78%	4	13%	4	B	
		H26	4	12%	23	72%	5	16%	4	A	
		H27	2	6%	25	78%	5	16%	4	B	
改訂後	35	H28	1	3%	32	91%	2	6%	-	B	B
		H29	4	11%	27	78%	4	11%	-	A	
		H30	3	9%	28	80%	4	11%	-	B	
		R1	3	9%	29	82%	3	9%	-	B	
		R2	4	11%	22	63%	9	26%	-	C	

#### 実績評価

◎: 順調に進んでいる ○: 概ね順調に進んだ △: あまり順調に進んでいない  
総合評価・総括評価

A: 成果が上がった

B: 概ね成果が上がった

C: あまり成果が上がらなかった D: 成果が上がらなかった

### ▼環境目標Ⅱの評価

- ・環境保全型農業を実践している農家の割合や市民1人当たりの都市公園面積は目標を達成しました。また、森林保育作業の参加者数は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けたものの、令和元年度時点で目標を達成するなど、順調に進みました。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受け、成果を上げることができなかった取組が増加しましたが、令和元年度までは概ね成果を上げることができました。
- ・外来種駆除や葦毛湿原の大規模植生回復作業の実施などにより、生物多様性の確保・保全に関する取組を進めることができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A: 成果が上がった B: 概ね成果が上がった C: あまり成果が上がらなかった D: 成果が上がらなかった)

# B

# 環境目標Ⅲ

# 資源を大切にし、循環を基調とする社会環境

基本施策	Ⅲ-1. ごみ減量の推進	Ⅲ-4. 水資源の節約と有効利用
	Ⅲ-2. リユース・リサイクルの推進	
	Ⅲ-3. 環境美化活動の促進	

## ▼目標

廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用及び資源の有効利用を進め、持続的な発展が可能となるよう循環を基調とする社会環境の形成を目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
市民1人が1日に出す生活系ごみ <sup>※1</sup> の量 (事業所から出るごみを含まない。)[g/人・日]	790	772	772	764	750	746
再生家具等展示・販売会における 入札申込者数 [人/年]	584 <sup>※2</sup>	(563)	(491)	(457)	(584)	(495)
リサイクル率 [%]	17.1	18.1	19.9	19.3	18.2	18.0
530運動等の参加者数 [人/年]	180,000	175,000	175,000	174,500	175,400	201,000
雨水貯留槽設置補助件数(累計) [件]	376	492	567	616	665	699

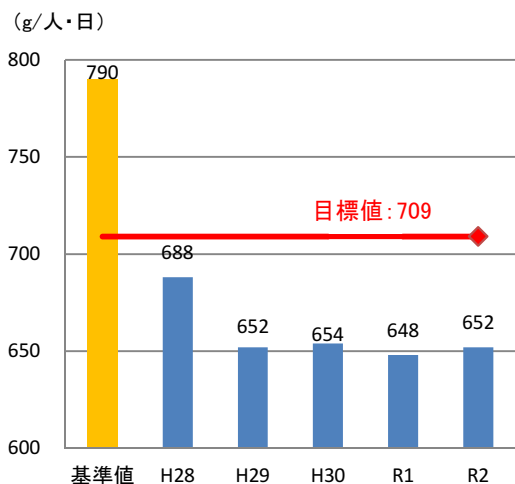
  

取組の目標	H28	H29	H30	R1	R2	目標値(R2)
市民1人が1日に出す生活系ごみ <sup>※1</sup> の量 (事業所から出るごみを含まない。)[g/人・日]	688	652	654	648	652	709
再生家具等展示・販売会における 入札申込者数 [人/年]	597	649	477	201	252	700
リサイクル率 [%]	18.0	24.2	26.3	27.2	25.8	28.0
530運動等の参加者数 [人/年]	176,500	173,900	175,900	177,200	38,700	185,000
雨水貯留槽設置補助件数(累計) [件]	722	747	759	773	794	960

※1 国の用語に合わせるため見直し。環境基本計画本編の「家庭系ごみ」と同義であり、考え方も同様である。

※2 計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

### 市民1人が1日に出す生活系ごみの量



### ▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	43	H23	3	7%	35	81%	5	12%	-	B	B
		H24	2	5%	39	90%	2	5%	-	B	
		H25	2	5%	38	88%	3	7%	-	B	
		H26	4	9%	36	84%	3	7%	-	B	
		H27	5	12%	34	79%	4	9%	-	A	
改訂後	44	H28	6	14%	35	79%	3	7%	-	A	A
		H29	5	11%	36	82%	3	7%	-	A	
		H30	6	14%	35	79%	3	7%	-	A	
		R 1	5	11%	33	75%	6	14%	-	A	
		R 2	3	7%	33	75%	8	18%	-	B	

実績評価

◎: 順調に進んでいる ○: 概ね順調に進んだ △: あまり順調に進んでいない

総合評価・総括評価

A: 成果が上がった

B: 概ね成果が上がった

C: あまり成果が上がらなかった

D: 成果が上がらなかった

### ▼環境目標Ⅲの評価

- ・市民1人が1日に出す生活系ごみの量は目標を達成しました。また、リサイクル率は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けたものの、令和元年度時点で概ね目標を達成するなど、順調に進みました。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けたものの、概ね成果を上げることができ、令和元年度までも着実に成果を上げることができました。
- ・市民のごみに対する意識の向上に繋がる取組を進めることができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A: 成果が上がった B: 概ね成果が上がった C: あまり成果が上がらなかった D: 成果が上がらなかった)

# A

# 環境目標Ⅳ

# 健全で快適な生活環境

基本施策	IV-1. 大気環境の保全及び騒音・振動・悪臭の防止	IV-4. ヒートアイランド対策の推進
	IV-2. 水環境及び土壌・地盤環境の保全	
	IV-3. ゆとりある生活空間の創出	

## ▼目標

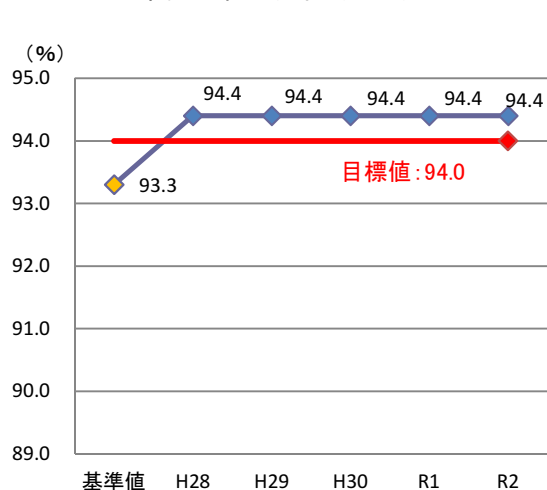
大気汚染や騒音・振動、水質汚濁、有害化学物質による汚染などに対する監視や防止対策を進め、私たちの生活環境を保全するとともに、健全で快適なゆとりある生活空間を創出することを目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
環境基準達成率(大気) [%]	93.3	88.6	94.4	88.9	91.1	94.4
工場・事業場立入件数(大気、騒音等) [件/年]	154*	-	-	-	(154)	(174)
環境基準達成率(水質) [%]	90.6	90.6	89.6	89.6	89.6	89.6
工場・事業場立入件数(水質、土壌等) [件/年]	123*	-	-	-	(123)	(177)
下水道普及率(公共下水道、地域下水道合計) [%]	78.8	79.1	79.3	79.9	80.0	80.1
景観形成地区の景観に配慮された 建築工事等の件数(累計) [件]	192	228	246	264	283	292
公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	28	39	118	132	132	128

取組の目標	H28	H29	H30	R1	R2	目標値(R2)
環境基準達成率(大気) [%]	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.0
工場・事業場立入件数(大気、騒音等) [件/年]	195	270	146	131	157	180
環境基準達成率(水質) [%]	89.6	89.6	89.6	89.6	89.6	96.0
工場・事業場立入件数(水質、土壌等) [件/年]	269	219	122	118	242	150
下水道普及率(公共下水道、地域下水道合計) [%]	79.9	79.6	79.4	79.6	79.9	82.3
景観形成地区の景観に配慮された 建築工事等の件数(累計) [件]	312	333	363	377	396	360
公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	128	131	134	130	119	140

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

環境基準達成率(大気)



## ▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	52	H23	2	4%	45	86%	5	10%	-	B	B
		H24	1	2%	47	90%	4	8%	-	B	
		H25	1	2%	47	90%	4	8%	-	B	
		H26	3	6%	44	84%	5	10%	-	B	
		H27	3	6%	44	84%	5	10%	-	B	
改訂後	54	H28	3	6%	46	85%	5	9%	-	B	B
		H29	2	4%	46	85%	6	11%	-	B	
		H30	3	6%	46	85%	5	9%	-	B	
		R 1	3	6%	44	81%	7	13%	-	B	
		R 2	4	8%	45	83%	5	9%	-	B	

### 実績評価

◎: 順調に進んでいる ○: 概ね順調に進んだ △: あまり順調に進んでいない

### 総合評価・総括評価

A: 成果が上がった B: 概ね成果が上がった  
C: あまり成果が上がらなかった D: 成果が上がらなかった

## ▼環境目標Ⅳの評価

- 環境基準達成率(大気)、工場・事業場立入件数(水質、土壌等)、景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の件数は目標を達成し、順調に進みました。
- 年度ごとの総合評価を見ると、毎年概ね成果を上げることができました。
- 大気や水質等の常時監視等の実施を行うほか、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹の植え替えを行うことで、ゆとりある生活環境の形成を進めることができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A: 成果が上がった B: 概ね成果が上がった C: あまり成果が上がらなかった D: 成果が上がらなかった)

# B

# 環境目標V

# 環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境

基本施策	V-1. 環境に関する教育啓発の推進	
	V-2. 環境保全活動の推進	
	V-3. 文化の継承と活用	

## ▼目標

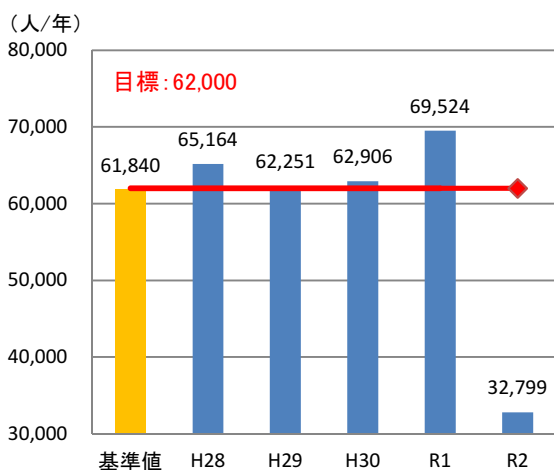
環境保全に関する教育や啓発を進めることで、私たち一人ひとりの環境に対する意識を高めるとともに、市民活動などを通じて地域の文化を守り、継承し、自然や将来世代を思いやる知恵をはぐくむ文化環境の形成を目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
地球温暖化対策出前講座の実施回数 [回/年]	5	18	17	15	17	15
環境イベントの参加者数 [人/年]	7,272	5,000	6,000	6,000	7,402	9,300
地域資源回収実施回数 [回/年]	2,065*	(2,332)	(2,408)	(1,924)	(2,065)	(2,087)
文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人/年]	61,840	72,903	69,895	56,300	56,944	53,382
教育文化施設の利用者数 [千人/年]	1,289	1,271	1,309	1,259	1,402	1,894

取組の目標	H28	H29	H30	R1	R2	目標値(R2)
地球温暖化対策出前講座の実施回数 [回/年]	12	19	8	5	3	25
環境イベントの参加者数 [人/年]	8,900	5,182	9,100	9,700	0	8,510
地域資源回収実施回数 [回/年]	2,127	2,346	2,401	2,502	2,308	2,170
文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人/年]	65,164	62,251	62,906	69,524	32,799	62,000
教育文化施設の利用者数 [千人/年]	2,014	1,959	1,797	1,934	1,443	2,193

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

### 文化財関連イベント・展覧会等の参加者数



### ▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	39	H23	2	5%	34	87%	3	8%	-	B	A
		H24	0	0%	37	95%	2	5%	-	B	
		H25	0	0%	39	100%	0	0%	-	B	
		H26	5	13%	32	82%	2	5%	-	A	
		H27	5	13%	29	76%	4	11%	1	A	
改訂後	41	H28	6	15%	34	83%	1	2%	-	A	A
		H29	4	10%	35	85%	2	5%	-	A	
		H30	6	15%	34	83%	1	2%	-	A	
		R 1	5	12%	33	81%	3	7%	-	A	
		R 2	4	10%	24	58%	13	32%	-	C	

実績評価

◎：順調に進んでいる ○：概ね順調に進んだ △：あまり順調に進んでいない

総合評価・総括評価

A：成果が上がった

B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった

D：成果が上がらなかった

### ▼環境目標Vの評価

- ・地域資源回収実施回数は、目標を達成しました。また、環境イベントの参加者数や文化財関連イベント・展覧会等の参加者数は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けたものの、令和元年度時点で目標を達成するなど、概ね順調に進みました。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受け、成果を上げることができなかった取組が増しましたが、令和元年度までは着実に成果を上げることができました。
- ・文化財の調査、活用、体験講座・展示、指定文化財の保存修理補助などを行い、文化財保護活動を推進することができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

# A

## 第2次豊橋市環境基本計画の総括について

第2次豊橋市環境基本計画（計画期間：平成23年度～令和2年度）の総括については、第3次豊橋市環境基本計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）策定の基礎資料とすべく、令和元年度及び令和2年度に開催した豊橋市環境審議会にてご報告しました。

この度、計画完了年度となる令和2年度までの実績を含めて整理しましたところ、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により取組の目標や実績が前年度割れをしたものはございましたが、全体として見たときの各目標の評価に変更はなく、総括に大きな修正はありませんでした。

### 【参考】 第2次豊橋市環境基本計画総括（令和元年度及び令和2年度実施内容）

現行計画の計画期間においては、平成23年3月に発生した東日本大震災などをきっかけに、市民・事業者の環境保全に対する意識は大きく変化し、低炭素・循環型社会への社会的要請が大きくなり、環境に配慮した持続可能な社会への転換が求められるようになりました。また、近年「パリ協定」を始めとした世界の潮流等、今までに無い急速な変化が生じたことにより、様々な課題への対応が求められ、多くの取組が進められました。

5つの環境目標中3つが最高評価であり、総じて概ね成果が上がっている状況です。中でも、資源循環社会を築く基礎となる、ごみ排出量の削減及びリサイクル率の向上については大きな成果が出ています。また、低炭素社会の実現に向け、補助制度の継続的な実施やバイオマス利活用センターの稼働等により、再生可能エネルギーの利用を促進することができました。一方、自然環境保全啓発活動の参加者数は減少傾向にあり、啓発活動の新たな担い手の育成や本市の将来を担う子供たちに自然環境の大切さを意識してもらおう取組について課題が残っています。

目 標	評 価
【環境目標Ⅰ】 低炭素社会の実現により保全する地球環境	A
【環境目標Ⅱ】 多様な生物が生息し、人と共生する自然環境	B
【環境目標Ⅲ】 資源を大切にし、循環を基調とする社会環境	A
【環境目標Ⅳ】 健全で快適な生活環境	B
【環境目標Ⅴ】 環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境	A

評価の説明／A：成果が上がった      B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった      D：成果が上がらなかった